

【国土交通省／みずほ銀行／竹中工務店】

建設分野における 脱炭素・資源循環の政策と最新動向

日時 2026年8月31日（月） 午後1時～3時50分
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信（2週間、何度でもご視聴可）
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニ ガーデンコート 1F

I. 住宅・建築物の脱炭素化に向けた政策の動向 【13:00～13:50】

2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、建設分野においても、省エネ対策の加速によるオペレーショナルカーボンの削減や、エンボディドカーボンの算定を通じて、脱炭素社会の実現に寄与することが必要です。

本講演では、建築物省エネ法のアップデートをはじめとした近年の制度の対応状況や多様な支援策、建築物のライフサイクルカーボン削減を目指した最新の政策動向について、住宅・建築物の脱炭素化に向けた施策の担当から解説を行います。

- | | |
|--------------------------|---|
| 1. 建築物の省エネ化促進に関する制度概要・背景 | 4. 建材・設備のCO ₂ 等排出量原単位の整備に向けた取組や補助制度等 |
| 2. 建築物の省エネ化に関する補助制度等 | 5. 建築物省エネ法の一部を改正する法律案について |
| 3. 建築物のライフサイクルカーボン評価の促進 | 6. 質疑応答／名刺交換 |

国土交通省 住宅局 参事官(建築企画担当)付 課長補佐 平山 鉄也 氏

II. 建設サーキュラーエコノミー 【14:00～14:50】

～持続可能な建設の実現に向けた水平リサイクルの拡大について～

建設業から排出される廃棄物は全産業の約2割を占めています。その廃棄物がリサイクルされず最終処分された場合、最終処分場をひっ迫させる要因となります。

最終処分場が枯渇した場合、解体・新築のサイクルが停滞し、建設投資が縮小するおそれがあり、建設分野におけるサーキュラーエコノミーの実現が重要です。本講演では建設サーキュラーエコノミーの実現に向けた戦略についてご説明します。

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 建設業界を取り巻く環境 | 4. 実現に向けた障壁と打ち手 |
| 2. 建設サーキュラーエコノミー実現にむけてとるべき戦略 | 5. 質疑応答／名刺交換 |
| 3. 建設業界の強みやシーズ | |

(株)みずほ銀行 産業調査部 次世代インフラ・サービス室 社会インフラチーム アナリスト 諸富 貴洸 氏

III. “スクラップ&ビルド”を超えて「サーキュラーデザインビルド®」の実現を目指して 【15:00～15:50】

竹中工務店は、建築・まちづくり領域でのサーキュラーエコノミーの社会実装を目指し、「サーキュラーデザインビルド®」というコンセプトを提唱しています。今回の講演では、そのコンセプトが紡ぎだされた経緯や、その実現に向け、進められている「つくる」「つかう」「つなぐ」の3つの循環に関する実践事例を紹介するとともに、実践の中で見えてきた課題と展望についてお話しします。

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 「サーキュラーデザインビルド®」とは？ | 4. つなぐ循環 |
| 2. つくる循環 | 5. 課題と今後の展望 |
| 3. つかう循環 | 6. 質疑応答／名刺交換 |

(株)竹中工務店 経営企画室 サステナビリティ推進部 シニアチーフエキスパート 福井 彰一 氏

PROFILE 平山 鉄也(ひらやま てつや)氏

1993年 北海道生まれ。2016年 東京大学工学部都市工学科卒業。同年、国土交通省入省。住宅局建築指導課、安心居住推進課、内閣府カジノ管理委員会事務局等を経て、2022年より住宅局建築指導課建築物事故調査・防災対策室 課長補佐。2023年4月から現職。

PROFILE 諸富 貴洸(もろとみ たかひろ)氏

2017年みずほ銀行入行。中堅中小企業法人営業を担当後、国土交通省に出向し、住宅政策の企画立案業務に従事。2021年よりみずほフィナンシャルグループ個人業務部(当時)にて、ビジネス戦略企画業務に従事し、2025年11月より現職。建設業界における調査分析などに従事。

PROFILE 福井 彰一(ふくい しょういち)氏

2003年に株式会社竹中工務店に入社。支店での総務・人事・経理、作業所などを経験した後、本社人事部門で人事制度設計を担当。2019年より経営企画室で組織制度の企画運用に従事し、同時に社内部門横断の「サーキュラーエコノミー」ワーキンググループに参加し、技術開発のリーダーを務めている。2024年4月より現職。「サーキュラーデザインビルド®」の推進に従事。

Table with 2 columns: Item (e.g., 受講料, お申込方法, お支払方法) and Description (e.g., 各受講方法 1名につき 27,500円(税込) ...)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信ください。
■ライブ配信について
■アーカイブ配信について

Registration form for the seminar. Includes fields for date (8月31日), title (建設の脱炭素・資源循環の政策と動向), company name, address, and contact information. Includes checkboxes for on-site, live, and archive options.

詳細・お申込はこちら↓



主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金
事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所
お申込み受付 FAX 03-5532-8851
〒105-0003 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4階
Tel:03-5532-8850/E-mail:info@ssk21.co.jp/URL:https://www.ssk21.co.jp
※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26450-E